

教 生 学 第 4 9 2 号
令和4年（2022年）8月1日

各 教 育 局 長
各 道 立 学 校 長
各市町村教育委員会教育長（札幌市を除く）
（ 各 市 町 村 立 学 校 長 ）

様

北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課長 泉 野 将 司

ヤングケアラー支援に係るオンデマンド研修の実施について（通知）

ヤングケアラーの支援にあたっては、本年4月に施行された「北海道ケアラー支援条例」で示されているとおり、学校を含む関係機関が、ケアラーが置かれている状況及びケアラー支援の必要性についての理解を深めるとともに、支援を必要とするケアラーに対し、他の関係機関への取り次ぎその他の必要な支援を行うよう努めることとされており、学校においても、ケアラー及びヤングケアラーやその支援について共通理解を図ることが必要です。

この度、当課において、校内研修等で活用できるオンデマンド研修の資料を作成し、令和5年1月末まで公開することとしましたので、お知らせします。

つきましては、各学校において本資料を用いて研修を実施し、ヤングケアラーの把握や支援の在り方について、教職員の理解を深めていただきますようお願いいたします。

なお、今後の施策の参考とするため、研修実施後に次のとおり実施状況を報告いただくようお願いいたします。

また、市町村教育委員会におかれましては、所管する学校に周知願います。

[実施報告について]

- ・別紙「研修のパッケージ」に示される内容をひとまとまりとし、研修A～Cのそれぞれについて、協議終了後に報告すること。
- ・実施報告は、研修ごとに意見・質問をとりまとめ、学校の代表者1名が、別紙「実施状況の報告」に示されたフォームから入力すること。

（企画・調整係）

ヤングケアラー支援に係るオンデマンド研修

令和4年8月 北海道教育委員会

- ★ヤングケアラーの実態や、ヤングケアラーの支援に関して理解を深めるための研修動画です。
- ★校内で共通理解を図るため、研修を通して考えたことや疑問に思ったことをシェアしましょう。

研修動画の内容

研修A 「ケアラー及びヤングケアラーの理解」

- ①なぜケアラー支援が必要か
- ②ヤングケアラーの実態

研修B 「ヤングケアラーに気付くために」

- ①海外の実践事例
- ②ヤングケアラーへの支援

研修C 「スクールソーシャルワーカーによる支援」

- ①スクールソーシャルワーカーの役割と支援
- ②学校や地域でできる支援



講師

- ・北海道社会福祉協議会 中村 健治 氏
- ・北海道スクールソーシャルワーカー 栗田 郁子 氏



スマートフォンやタブレット
端末でも視聴可能です

研修のパッケージ

目的の共有

動画の視聴

協議・まとめ

- ・裏面の「研修運営案」の進行要領を参考にしてください。
- ・学校の実情に応じ、校内で集合して研修を行ったり、動画の視聴等研修の一部を個別研修で実施したりして、全ての教職員が研修できるよう工夫してください。
- (例) 事前に「目的の共有」を行い、2週間「動画の視聴」の期間を設け、研修日に集合して「協議・まとめ」を設定

視聴方法

- 1 生徒指導・学校安全課の専用Webページを開きます。
(<https://www.dokyoji.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/yc-kensyu.html>)
 - 2 研修A～Cに対応した資料をダウンロードします。
 - 3 ページ内の「動画視聴」をクリックします。
 - 4 視聴ページでユーザーIDとパスワードを入力し、観たい動画を選択します。
- ※ユーザーIDとパスワードは、道立学校及び市町村教育委員会にお知らせしています。
不明な場合は、教育局にお問い合わせください。



実施状況の報告

○研修の実施状況、協議等が出された意見や質問は、学校で取りまとめて次のアドレスから入力してください。

※管内で入力フォームが異なります。教育局にお問い合わせください。

ヤングケアラー支援に係るオンデマンド研修運営案

本資料は、ヤングケアラー支援に係る研修動画を活用し、校内研修等を実施する運営案です。各校の実情に応じ、参考にしてください。

1 事前の準備

- ・研修資料の用意（道教委Webページで公開しています）
- ・動画を視聴できる環境、協議を行うための準備
- ・ヤングケアラーの早期発見のためのアセスメントシート

2 進行要領（全動画共通）

	内容	備考
導入	○研修の目的の共有 ※研修の目的を全体で確認しましょう。	〔5分〕 ・「3 研修内容」を参照のこと。
講義	○動画の視聴（各テーマ、前半・後半で15分ずつに分かれています） テーマA「ケアラー及びヤングケアラーの理解」 テーマB「ヤングケアラーに気付くために」 テーマC「スクールソーシャルワーカー（以下SSW）による支援」	〔16～32分〕 ※前後半を続けて視聴する場合、最大32分確保します。
協議・まとめ	○グループやペアで気付きや疑問をシェア ☆協議の視点（共通） ・研修動画の視聴で理解したこと、疑問に思ったこと ・ヤングケアラーの支援やSSWの活用について留意すること ・ヤングケアラーの疑いがある児童生徒を発見する手立て等 ○研修担当者によるまとめ ※シェアした内容を交流し、学校として取り組むことや教職員として意識すること、より詳しく知りたいことなどについて、整理しましょう。	〔10～20分〕 ・アセスメントシートを参考に、学校の取組について協議します。 〔5分〕 ・「3 研修内容」を参照のこと。

3 研修内容

テーマ	A：ケアラー及びヤングケアラーの理解	B：ヤングケアラーに気付くために	C：SSWによる支援
講師	中村 健治 氏	中村 健治 氏	栗田 郁子 氏
ねらい	・ケアラー（ヤングケアラー）について理解する。	・ヤングケアラーの支援の在り方について理解する。	・SSWによる支援の実際について理解する。
動画の主な内容（テーマごとに①②に分かれています）	①なぜケアラー支援が必要か ・ケアラー支援の必要性 ・ケアラーの特徴 ②ヤングケアラーの実態 ・ヤングケアラー調査結果 ・ヤングケアラーの影響	①海外の実践事例 ・国際的な支援の流れ ・英国の支援事例 ②ヤングケアラーへの支援 ・北海道ケアラー支援条例 ・支援する側の共通理解	①SSWの役割と支援 ・SSWの役割 ・「子どもの問題」の考え方 ②学校や地域でできる支援 ・アセスメントのポイント ・SSWの立場で考える支援
研修まとめの観点（例）	①ケアラー（ヤングケアラー）を取り巻く社会的背景 ②学校生活でヤングケアラーが受ける影響と発見の視点	①校区（市町村内）における支援体制の確認 ②ヤングケアラー支援の留意点	①SSWとの効果的な連携 ②ヤングケアラーと思われる児童生徒に気付くために

4 事後の取組

- ・アセスメントシートを活用し、児童生徒の実態を把握する。
- ・市町村教育委員会や市町村の児童福祉部局と連携し、ヤングケアラーと思われる児童生徒への対応や連絡先について確認しておく。
- ・今後の施策の参考とするため、研修の実施状況や、協議でとりまとめた意見・質問をWebで報告してください。